

パースエクスプレスが行く 全容解剖ガイド **365日ロットネスト島宣言**

ロットネスト島の魅力

ロットネスト島は、地元や国内外から年間約50万人の人々が訪れるリゾート・アイランド。365日、お年寄りから若者まで、人々を魅了し続けてやまないその島の魅力を一挙に紹介！

動植物



オリバーヒルに多く生育するロットネスト・デイジー
Photo Courtesy of Rottneest Island Authority

ユニークな生態系を保っているロットネスト島。野生ではここでしか見られない有袋類のクウォッカを始め、シーズンには渡り鳥やクジラ、1年を通して島の周辺で見られるイルカなどの動物やロットネスト・デイジーなど、たくさんの珍しい植物が生息している。

島のアイコン クウォッカ

1696年に島に来たオランダ人が、このクウォッカを見て巨大なネズミと間違え、「ネズミ (Rat) の巣 (Nest)」がある島、「ラットネスト」と名付けたと言われるほど、この島の歴史と深い関わりを持つ動物。夜行性のため、日中はあまり見られない。食べ物を求めて人に近づいてくるが、お腹をこわす恐れがあるので決して与えないようにしましょう。



Photo Courtesy of Rottneest Island Authority

自然 — P18 を参照

A級保護区に指定されているロットネスト島では、一般車両の乗入れ禁止や様々な環境保護活動を通して、島の環境を守っている。人による開発が最低限に留められているため、観光地でありながら本当の自然環境を満喫できる。



エメラルドグリーンの海は島のハイライト ▶

アクティビティ — P8-11、16 を参照

各種ツアーを始めとして、サーフィンやダイビングなどのマリンスポーツ、爽やかな潮風を感じられるサイクリング、ゴルフやテニスなど、誰でも楽しめる豊富なアクティビティも人気の秘密。



島の周りにはユニークな魚たちがたくさん！
Photo Courtesy of Rottneest Island Authority



ゴルフは冬がベストシーズン
Photo Courtesy of Rottneest Island Authority

歴史 — P13 を参照



アボリジニの居住地、流刑地、州知事の避暑地、そして第2次大戦中は防衛基地と、時代に応じて様々な役割を果たしてきたロットネスト島。建設当時の面影を残した歴史的な建造物の数々を訪れば、当時の島へタイムスリップした気分が味わえる。

◀ ソルトハウス。本土に運ばれる塩は、一旦ここで貯蔵された。

宿泊施設 & レストラン — P14-15 を参照

バリエーション豊かな宿泊施設が揃い、島のゆったりとした空間を思い思いに楽しめる。リゾート気分になれるホテルからバックパッカーに最適の格安ユニットまで、気分や目的に応じて、イメージ通りのアイランドドライブを実現できる。レストランも、本土に負けないほどの上質なメニューを取り揃えている。



元州知事の避暑地として使われたクウォッカ・アームズホテル

アクセス — P14 を参照

リゾート・アイランドとしての要素をすべて兼ね備えていながら、本土からはフェリーで最短30分、空路では15分というアクセスのしやすさも魅力の1つ。何度でも通える、通いたくなる島として、地元の人にも愛されている。